

(様式2-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書(案)

1. 整備計画											
計画の名称	市街地における通学路の交通安全プログラムに基づく交通安全施設整備										
計画の期間	平成28年度 ~ 令和2年度	交付対象	静岡県、袋井市、焼津市、菊川市、長泉町、湖西市、沼津市								
計画の目標	平成24年度に実施した通学路緊急合同点検を踏まえ、平成26年度に策定された交通安全プログラムに基づき決定した通学路危険箇所において、通学路の安全対策が必要とされた箇所の整備を推進し、交通事故のない安全で安心した豊かな生活を送れる社会の実現を目指す。										
計画の成果目標(定量的指標)	対象路線における通学路危険箇所について歩道整備実施延長の割合を約44.0%向上させる。										
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考				
			当初現況値	中間目標値	最終目標値						
			(H28当初)	(H 末)	(R2末)						
①	通学路危険箇所における歩道計画延長に対する整備状況から危険箇所解消率を算出する。 (危険箇所解消率) = (歩道整備実施延長) / (危険箇所通学路計画延長) × 100		0.0%	—	44.0%						
②											
③											
全体事業費	合計(A+B+C)	2,828百万円	A	2,828百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%	
事業種別	主な交付対象事業	要素となる事業名(事業箇所)		事業内容(延長・面積等)		市町名		全体事業費(百万円)	備考		
街路		(都)袋井駅森線		現道拡幅 L=0.43km		袋井市		661			
事業数		(都)山梨中央通り線		バイパス L=0.32km		袋井市		576			
9		(都)池新田中央線(中町工区)		現道拡幅 L=0.40km		御前崎市		591			
2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成 —:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成)											
計画の移行なし	○	5	△	4	—	備考		計画の移行あり	●	▲	
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況											
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・(都)袋井駅森線や(都)山梨中央通り線ほか3箇所が当計画期間内に整備完了したことにより、歩行者や自転車が集中する市街地の安全性が向上するとともに、通学路危険箇所の解消率が向上した。									
II 定量的指標の達成状況	指標①(%)	最終目標値	44		目標値と実績値に差が出た要因	補正予算を積極的に活用し、歩道整備を前倒しすることで計画期間内に目標以上の危険箇所解消率を達成することが出来た。					
		最終実績値	49.7								
	指標②()	最終目標値			目標値と実績値に差が出た要因						
		最終実績値									
	指標③()	最終目標値			目標値と実績値に差が出た要因						
		最終実績値									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 道路新設による線形の見直しや右折レーンの整備により、通行の安全性向上や交通渋滞の緩和による交通の円滑化が図られている。 都市計画道路(幹線街路)と土地区画整理事業を組み合わせた整備を行い、良好な市街地の形成が図られている。 道路幅員の拡大により、震災時の通行空間の確保や火災時の延焼防止等、防災機能の向上が図られている。 									
4. 今後の方針等											
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、関係市町と連携し、通学路の危険箇所を含む幹線街路の整備を進め歩行者等の安全を確保していく。 残る事業箇所についても、新たな整備計画にて事業を継続し、早期完了を目指す。 											